騒音・振動表示装置

*故障かなと思ったら、まず次のことを確認してください。

- 2. 騒音または振動の数値が動かない。

(ゼロ又は特定の数値で固定されている。)

- 騒音計または振動計の電源は入っていますか?
 - ・ 電源が入っていない
 - →電源を入れます。
 - ・ 騒音計または振動計の数値は動いていますか?
 - →CAL出力になっていませんか? (騒音計または振動計の説明書を見てCALモードになっていないか
 - 確認して、CALモードの場合は測定モードに変更してください。)
 - →計測できる範囲外ではありませんか? (表示装置の説明書を参照して、適切なレンジになっているか確認し、 必要に応じて変更してください。)
 - ・騒音計または振動計の出力がACになっていませんか?
 →出力をDCに変更します。
 (騒音計または振動計の説明書または、*AC→DCの切り替え方をみて出力をDCに変更してください。)
 - ・ 信号ケーブルが抜けていませんか?
 →ケーブルが抜けている場合には、ケーブルを正しく差し込みます。
- 3. 表示されている値が計器表示値と比べ高い又は低い、合っていない
 ・ 騒音計または振動計のレンジと表示装置のレンジはあっていますか?
 →操作説明書を確認して騒音計又は振動計と表示装置のレンジを合わせてください。

*ブレーカーが落ちてしまった場合の確認事項

- 主電・分電を復旧
- ② 計測BOXの左上のブレーカーをON(確認)
- ③ 騒音計・振動計の電源をON(確認) *各取説参照
- ④ 騒音計・振動計の出力確認 (AC→DC)
- ⑤ 表示機の電源(タイマー)を入、若しくは自動
- ⑥ タイマー設定の確認(機動する曜日・時間)*取説参照
- ⑦ 数値が表示されるか確認
- ⑧ 計器と表示機の数値が合っていれば完了

*AC→DC切り替え方

騒音計 NL21・21 の場合

- NL20 21 の測定画面の状態で Menu キーを 1 度押し、メニュー画面を開き ます。
- Fast/Slow キーでページを進め、3ページ目の 〈I/O〉 設定画面を開きます。
- Output AC/DC: の項目が DC になっているいことを確認します。
- ・ Menu キーを1度押して測定画面に戻ります。

振動計 VM53A の場合

- ・ VM53Aの測定画面中で Menu キーを1度押しメニュー画面を開きます。
- 1ページ目の〈System〉設定画面のOutput:の項目がDCになっている事を 確認します。
- ・ Menu キーを何度か押して測定画面に戻ります。

振動計 VM52 の場合

・ VM52の電源を切ります。

液晶画面の上にあるAC・DC切り替えスイッチをDCにします。
 VM52の電源をいれます。

注)高い電圧がかかった場合は各部品・機器の損傷 の可能性がありますので早急にご連絡下さい!!